

議題名 『一番の思い出になる、最高の運動会にするために』 (第5学年) 学級活動 内容(1)

本時のねらい

運動会に向けての話合い活動を通して、児童自ら「思い出に残る運動会にしよう」とする気持ちを高めることができるようにする。

議題設定の理由

議題ポストに「運動会に向けてクラスみんなで話し合いたい。」「全員での練習が足りない。」という意見がありました。そこで、計画委員と提案者、教師で打合せを行い、クラスみんなでできることはないか話し合う必要があると考えました。本時では、クラスの目標と具体的な練習内容を決めることで、運動会に向けてみんなの気持ちを一つにしたいと考えました。

過程

主な学習活動

必要感、切実感のある議題を発見させる

運動会を意識させるために、当日までのカウントダウンを行わせることで、児童自ら議題を発見させる。議題を出しやすい環境を作るために、児童が作った議題箱を教室に設置させる。クラス全体で解決すべきことか決めるために、「議題ポイント」を基に考えさせる。

【議題ポイント】

- ・全員に関係しているか。
- ・自分たちで解決することができるか。
- ・クラスや生活がよりよくなるか。

会議計画書を作成させる

見通しをもった話合いができるように、計画委員を中心に「会議計画書」を作成させる。

1. 問題を発見・確認し、議題を決定する

- カウントダウンカレンダーを作成し、担当になった児童が運動会に関連した日替わりの目標を立てる。
- 計画委員からみんなで解決したい議題を募集する声掛けをする。
- 議題ポストに入っていた意見から、必要感と切実感のある議題はどれか、計画委員と教師で選定する。
- 計画委員を中心に提案者を加えて「会議計画書」を作成する。
- クラス全員で議題を決定し、学活ノートに意見を書いておくようにする。



事前の活動

2. 運動会に向けて、クラスの目標と具体的な練習内容を決める

- 提案者が提案理由を説明し、全員が議題について理解する。

運動会まで後一週間しかないのに、十分に準備ができていないと感じています。

【めあて】

一番の思い出になる、最高の運動会にするためにみんなでできることはないか考えよう。

- 議題に対して考えてきた意見を発表し合う。
- 出てきた意見を、整理し比べ合い、折り合いを付けられるようにする。
- 全員が納得いく結果になるように、折り合いチェック表を使って合意形成を図る。



折り合いチェック表

児童主体の話合い活動にさせる

計画委員が作成した「会議計画書」を基に、話合い活動を進行させる。司会には安心感を与えるため以下を準備する。

- ・大まかな流れを記した「会議進行表」
- ・困ったときに使える言語集「ヘルプカード」
- ・教師に助言をもらう「ヘルプベル」

全員参加の深い学びを促す

全体を二重のコの字にさせることで、周囲の友だちとすぐに話し合える環境を作る。友達の見解を知ることで、視野を広げ新たな意見をもてるようにする。

対話的に合意形成を図る

折り合いの方法を提示しておき、みんなが納得いく結果が導き出せるようにする。

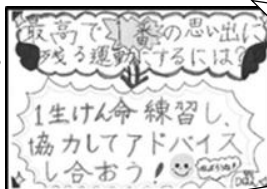
【折り合いチェック表】

- ・出てきた意見を一つに絞る。
- ・それぞれの意見のよいところをまとめる。
- ・全ての意見を採択し、順番を決める。

本時の活動

3. 決めたことを実践し、振り返る

- 計画委員を中心に、決定事項の掲示物を作り、教室に貼る。
- 運動会当日に黒板に掲示し、意欲を高める。
- 練習から運動会当日までを振り返って作文を書き、クラスで共有する。



児童作の掲示物

継続的な実践を促す

決定事項を掲示物にしておくことで、常に意識して生活することができるようにする。

学活ノートに成果や課題を記入させ、自分の活動が振り返られるようにする。

主体的・対話的な事後活動になるようにする

児童同士で感想や評価の共有をすることで、自己有用感の高まりを目指す。前向きに考えるように促し、次の課題解決へ、意欲を高められるようにする。

事後の活動

指導のポイント

指導例：『一番の思い出になる、最高の運動会にするために』
(第5学年)

1 話し合いのめあてをもつ。

つかむ

○問題を発見・確認し、議題を決定する。

K：今回の議題は、議題箱に入っていたものを基に決定しました。提案者は説明をお願いします。

S：提案理由は、運動会まであと少ししかないし、高学年最初の運動会だから、クラスみんなで何かできないかなと思ひ提案しました。

★目的意識
最高で一番の思い出になる運動会にするには、どうすれば良いか
★提案者()

★提案理由(会議で決めるもの)など
理由は、もう1年より運動会が早く、いせん準備をする必要があるから。

★ゴール★
この会議で何を決めるのか など
最高で一番の思い出になる運動会にするには、あと3日何をすれば良いか?

めあて

一番の思い出になる最高の運動会にするために、みんなでできることはないか考えよう。

2 運動会に向けて、具体的な練習内容とクラスの目標を決める。

出し合う

○学活ノートに書いてきた意見を発表する。

K：運動会までのあと3日、どうすればよいでしょうか。

S：一人一人が一生懸命練習に取り組みたいと思います。

S：遊競技の練習をもっとしたいです。

S：みんなでアドバイスをし合うのはどうですか。



〈適宜数人で相談〉

比べ合う

○出てきた意見を整理し、比べ合う。

K：意見を整理します。練習することと目標を決める必要がありそうです。まず、何の練習をやりたいか、具体的に決めましょう。

S：遊競技の練習をたくさんやる方がいいと思います。理由は、まだ練習が足りないと思うからです。

S：表現の練習は、大人がいるところでやらなければならない技もあるので、難しいと思います。

K：では遊競技の練習は、いつ、どこでやりますか。

S：全員が集まれる20分休みにやりたいです。

S：本番と同じように、校庭でやりたいです。邪魔にならないように端でやるのはどうですか。

K：次は目標を考えましょう。

S：みんなでアドバイスをしながら成功させようというのはどうですか。

3 折り合いを付ける。(合意形成)

決める

○全員が納得いく結果になるように折り合いを付ける。

K：議題が「みんなでできること」なので、練習内容は、「全員で遊競技の練習をする」に決めたいと思います。目標はどうしますか。



〈折り合いをつける〉

S：今まで出てきた言葉を組み合わせるのはどうですか。

S：「一生懸命練習」「協力」「アドバイス」がキーワードだから入れたいです。

S：みんなの意見を集約すると、「一生懸命練習し、協力してアドバイスをし合う」でどうですか。

T：最高の運動会になるよう、全員で目標に向かって頑張りましょう。

必要感、切実感のある問題を発見・確認させる

○提案者に、議題設定の理由を説明してもらうことで、自分たちの問題は自分たちで解決する思いを高めさせる。

主体的な話し合いになるように計画委員を中心に進めさせる

○計画委員が中心となって作成した「会議計画書」を基に進行させる。
○会議が児童中心に進むように、「進行表」を司会に用意し参考できるようにする。

全員参加の深い学びを促す

○全体を二重のコの字にさせることで、周囲の友だちとすぐに話し合える環境を作る。
○友だちの意見を知ること、自分の考えが広がるようにする。

話し合いの仕方が身に付くように工夫する

○文例集「ヘルプカード」を用意しておく。
○教師のアドバイスをもらいたいときや適切な指導助言をするときに使う「ヘルプベル」を用意しておく。

全員が納得できる合意形成を図る

○全員が納得する結果が出るように、折り合いチェック表を基に合意形成を図る。

【折り合いチェック表】

- ①意見を一つに絞る。
- ②それぞれのよいところをまとめる。
- ③順番を決める。

学級活動学習指導案

平成30年6月 第5学年 指導者 森下 千秋

I 議題名 「一番の思い出になる、最高の運動会にするために」

II 学習指導要領上の位置付け

(1) 学級や学校における生活づくりへの参画

ウ 学校における多様な集団の生活の向上

児童会などの学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合って決めること。

III 目標

ア (知識及び技能)

運動会に関する話し合い活動を通して、合意形成の手順や話し合い活動の方法を身に付けさせる。

イ (思考力、判断力、表現力等)

運動会を充実したものにするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。

ウ (学びに向かう力、人間性等)

話し合いを通して、みんなで決めたことを生かして競技に参加し、他者と協働しながら運動会の資質向上を図ろうとする態度を養えるようにする。

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開

- ねらい 運動会に向けての話し合い活動を通して、児童自ら「思い出に残る運動会にしよう」とする気持ちを高めることができるようにする。

2 展開

学習活動（分） ○：留意点 点線囲：評価 ☆：振り返りの子供の意識

1 話し合いのめあてをもつ。

つかむ（5分）

- 議題を理解した上で話し合いに積極的な参加ができるように、全員で話し合いのめあてと話し合いのゴールを確認する。
- 自分の意見に自信をもたせるために、各自の学活ノートに書いてきた意見を周りの友達と交流する。

めあて 一番の思い出になる最高の運動会にするために、みんなでできることはないか考えよう

2 運動会に向けて、具体的な練習内容とクラスの目標を決める。

出し合う（10分）

- 学活ノートを活用し、自分の言葉で意見を発表できるようにする。
- 全員参加を目指し、意見を集約しながら、全ての意見を出せるようにする。

3 **比べ合う**（15分）

- 少数意見や反対意見など、全ての意見を考慮したり生かしたりできるように、司会の進行表に記入しておく。
- 出てきた意見が比べやすく整理されるように、適宜、計画委員に助言する。
- 黒板書記を中心に同じような意見をまとめたり、違う部分を分かりやすくしたりして、板書を工夫できるようにする。

4 折り合いを付ける。【合意形成】

まとめる（15分）

- 合意形成をするために、意見を“一つに絞る・集約する・順序を決める”の中から計画委員が提案し「折り合いチェック」を行う。

思い出に残る運動会になるように、様々な意見を参考にしながら、みんなが納得してできることを選ぼうとしている。（思考・判断・表現）【観察・学活ノート】

- 話し合いの内容を整理し、学活ノートに自分の考えを書く。
- 学活ノートを活用し、話し合いについての反省や改善を簡単に交流する。

☆こんなにみんなでお話し合ったから、きっと楽しい運動会になると思います。

過程	基本的な学習活動 ◇学級全体 ◆計画委員	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた 授業改善等のポイント	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
事前の活動	1. 問題の発見・確認 ◇問題を発見する。 カウントダウンカレンダーを作成する。 ◆議題を選定する。 みんなで解決したい議題を募集する声掛けをする。 ◇議題を決定する。 計画委員を中心に、全員で話し合うべき議題を決める。 ◆活動計画を作成する。 「会議計画書」を作成する。 ◇問題意識を高める。 学活ノートに意見を書いておく。	○常に運動会を意識させるために、年間行事予定表を見ながら作成させる。 ○クラスみんなで話し合いたいこと、やりたいことなどの意見を議題箱に入れるように計画委員に声掛けをさせる。 ○切実感があり、児童が自ら解決できる議題になるように、アドバイスをする。 ○話し合いの中心になりそうなことを考え、議題と決めることを詳しく明記するように伝える。 ○会議前日の帰りの会で、計画委員から「議題・議題に対する意見を学活ノートに書いておく」ことを伝え、クラス全体に周知させる。 ○事前に教師が目を通し、アドバイスなどを記入しておくように声を掛ける。	◎運動会に向けての話し合いの手順を理解してる。(知識・技能)【会議計画書・観察】
本時の活動	2. 解決方法等の話し合い ◇提案理由を理解する。 意見交換を行い、議題をきちんと理解する。 ◇解決方法を話し合う。 意見を出す。 意見を比較し、折り合いを付けられるようにする。 3. 解決方法の決定 ◇合意を形成する。 全員が納得いく結果になったか確認する。	○議題についての自分の意見に自信をもたせるために、話し合いが始まる前に少人数グループで学活ノートを見合う時間を取るようにする。 ○司会に「会議進行表・ヘルプカード・ヘルプベル」を用意することで、不安感を軽減させ、教師の手助けや適切な声掛けができるようにする。 ○話し合いの内容がぶれたり、議題からそれたりしないように、必要に応じて教師からタイミングよく助言し、適切な指示や、ゆさぶりの質問をしていく。 ○「折り合いチェック」をすることで、全員が納得できるようにする。 ○意見を出した人や出てきた意見を全員で確認し「全員参加・決定」であることを意識させる。	◎思い出に残る運動会になるように、様々な意見を参考にしながら、みんなが納得してできることを選ぶようとしている。(思考・判断・表現)【観察・学活ノート】
事後の活動	4. 実践 ◇決めたことを実践する。 当日の行動に生かす。 5. 振り返り ◇活動の成果や課題について振り返る。 当日の動きについて振り返りながら、運動会作文を書く。 次の行事を確認する。	○決定事項を自覚させるために、教室の黒板に掲示し、登校したときと終わった後、すぐ確認できるようにする。 ○自分の成果と課題について学活ノートにメモをさせておき、作文の作成につなげられるようにする。 ○友達の前向きさを認め合えるように、書いた作文を掲示し、自由に読み合える環境を作る。 ○カウントダウンカレンダーを継続し、次の行事への意識付けをさせる。	◎合意形成したことを基に、思い出に残る運動会にしようと行動している。(主体的に取り組む態度)【観察】